全ての事業場の皆様へ

令和3年12月～
令和4年2月

転倒災害防止大作戦!!

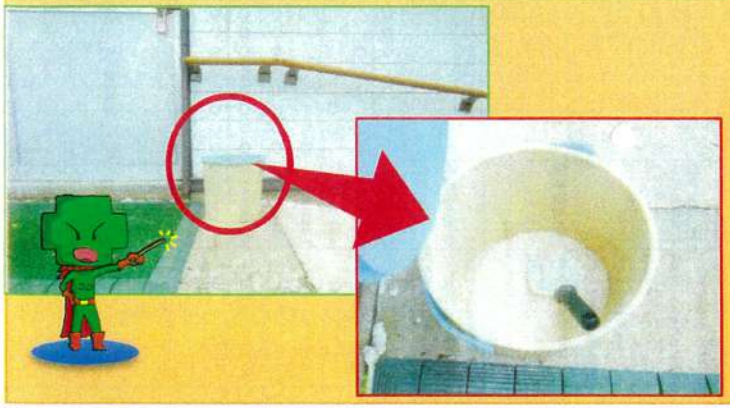
～冬季間は「見える化」実施で転ばない職場の実現を～

会社の中で転びやすい場所 BEST 3

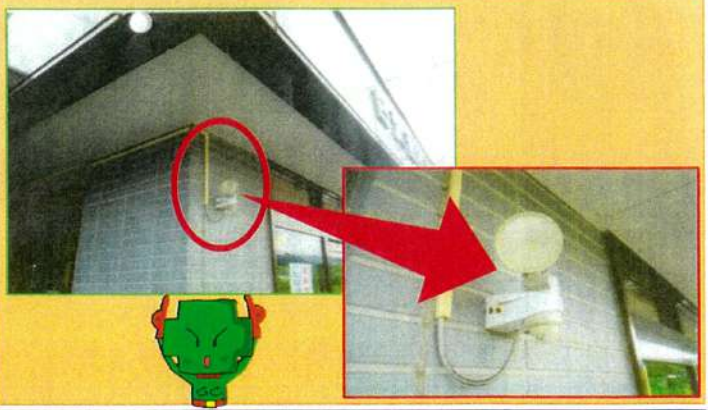
作戦①　出入り口に注意表示の「見える化」設置で転倒災害防止！

作戦②　転倒事故の多発する駐車場にも「見える化」で注意表示を

作戦③　駐車場や凍結しやすい通路に融雪剤を設置して凍結防止！



作戦④　冬季間は早く暗くなります。センサーライトの設置で明るさ確保！



①～④の転倒防止対策を事業場内で検討し、出来る対策から積極的に取り組みましょう。

作業場所に適した注意表示の設置を行いましょう

転倒注意

屋外に出るとき
履物交換

転倒注意

この先
傾斜あり∠

転倒注意

この先
段差あり⌐

転倒注意

凍結のおそれあり

転倒注意

ぬれた床
滑りやすい

転倒注意

足元注意

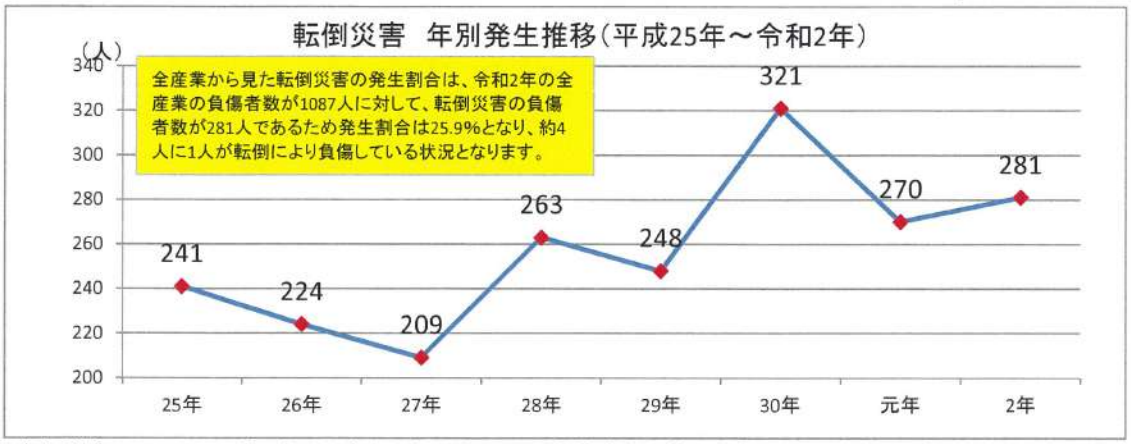
★転倒事故事例から見た６つの危険ポイント★

1. 屋外に出るときには作業に適した履物を着用しましょう。
2. 重機での除雪後は路面がツルツル。慎重な歩行を。
3. 歩行環境が変化する建物内から屋外へ出るときは要注意。
4. 放射冷却が発生した朝は凍結箇所が多くなっています。
5. 出勤時の車から降りた直後に転倒事故が多発しています。
6. 出入口は同じ場所が踏み固められ凍結部分が発生します。

厚生労働省 秋田労働局
転倒災害防止プロジェクトチーム
お問い合わせ先TEL：018-862-6683（健康安全課）
2021.11

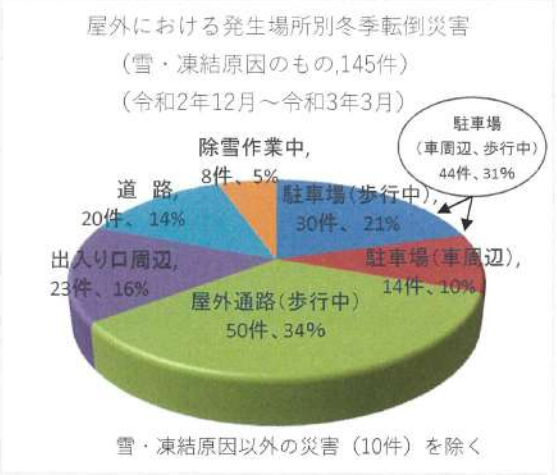
秋田県内における転倒災害発生状況

資料



※転倒災害について、平成25年から令和2年（暦年）による負傷者数の推移を表しております。平成25年には1年間で241人の労働者が何らかの形で仕事中に転倒により負傷をしておりましたが、令和2年においては、281人の労働者が転倒により負傷しており、負傷者数は上下しながらも増加傾向にあります。

※平成27年年度から令和2年度までの4月から3月までに発生した月別の転倒災害による負傷者数を表しております。秋田県内における転倒災害は冬期間の12月から2月にかけて急激に負傷者数が多くなり、屋外の凍結路面等における転倒が目立つようになります。令和3年1月には周期的に発生した爆弾低気圧の影響により、低気圧発生後に転倒災害が都度発生し1カ月で94人が負傷するという、過去最高の転倒による負傷者数となりました。



※上記円グラフは、令和2年12月～令和3年3月までに発生した転倒災害をそれぞれ分類した円グラフになります。左側は発生場所を表しており、右側は転倒災害時の作業内容等を表しております。冬期間は屋外の敷地内通路を歩行中に転倒している事例が最も多くなっております。